

平成29年8月29日(火)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



不便さを学びの場と考える

校長 上田 祥市

7月が終わった途端どこかに行ってしまった夏が、先週から急に戻ってきて残暑の毎日が続いています。今日から学びがたっぷりの2学期が始まります。

この夏休みの間に、学校はいくつか様子が変わりました。1学期から始まっていた校庭の工事が終了し、学童クラブの前に青々とした芝生の広場が生まれました。校庭の一部の小さなエリアですが、これから休み時間に裸足で寝転んだり、運動したり、時にはお弁当を食べたりするゆったりスペースになるといいなと思います。



校舎に入ると、今、西側トイレ工事の真最中です。水道管の配線の関係で、手洗い・水飲み場が使えないところがあります。西側トイレの前の廊下も狭くなっている所があり、しばらく不便な日が続きます。



外の西側水飲み場も使用できず、運動会の練習も始まるため、簡易の水飲み場を設置してもらいました。それでも十分な状態ではないので、水道工事終了予定の10月初めまで工夫をしていかなければいけません。水筒持参やおしぼり活用など、ご協力をお願いします。学校では、消毒ジェルやウェットティッシュ(予備分)の購入をしています。



西側トイレ工事が終了するのは、演劇フェスティバルの始まる前の11月24日前後の予定です。それまで使用できるのは東側トイレや体育館トイレのみになります。

不便さが安全面や衛生面の問題につながることをないように、学校では対策を講じていきます。しかし、この不便さを学びの場として積極的に活用したいとも考えています。手洗いでも順番を待つ子が増えます。トイレも同じです。狭い廊下をすれ違うのにも大変です。不便さを乗り越えるには、お互いの知恵と思いやりが必要になります。状況を判断し、行動する場面が増えます。恵まれている環境で生活することの多い現代の子供たちにとって、不便だからこそ学ぶことはたくさんあると思うのです。